「行き場のない私に真っ先に声をかけてきたのは、
買春者か性搾取業者でした」

影書房　新刊のご案内
2022年9月上発売

仁藤夢乃（一般社団法人 Colabo 代表）編著

『当たり前の日常を手に入れるために
性搾取社会を生きる私たちの闘い』

定価2,000円＋税　46判並製・344頁　ISBN9784-87714-492-0

「助ける」ことはできないかもしれないけど、一緒にもがくよ。

家庭にも学校にも居場所を失い、
性搾取被害に遭ってきた女の子たちと共に、
社会を変えてきた
Colaboの11年

Colabo につながる女の子へのインタビューや、学校教育や女性福祉の専門家、弁護士、困窮者支援の活動家らと仁藤さんとの対談を収録。Colabo の核にある〈対等な関係性〉や〈当事者主体の活動〉がどのようにして可能になったのかを明らかに

【主な内容】

1　活動スタート
仁藤夢乃「家が安全な場所ではない子たちと一緒に活動を始める」

2　Tsubomi　声をあげる
仁藤夢乃「サポートグループ『Tsubomi』と「私たちは『買われた』展」」

3　バスカフェをつくる
仁藤夢乃「排除された私たちは安全にたむろできる場所をつくっていく」

4　共に行動してきたこと
仁藤夢乃「〈出会いに行く〉〈共に考え、行動する〉を大切に」

5　これからの Colabo
仁藤夢乃「女の子たちと共に搾取されない社会をつくっていく」

※ほか、Colabo とつながる **8名の女の子へのインタビュー、学校教育関係者、弁護士、女性福祉関係者等5名**と仁藤との対談を収録

仁藤夢乃

1989年生まれ。著書に、週5日渋谷で過ごした10代のころを記した『難民高校生』（ちくま文庫）、女子高校生を JK ビジネスに取り込む性搾取業者の手法を暴いた『女子高校生の裏社会』（光文社新書）ほか多数。
代表をつとめる一般社団法人 Colabo では、バスカフェを拠点にした街をさまよう少女たちへの声かけ（アウトリーチ）活動、相談、一時シェルター、シェアハウスの運営といった活動を通じて、「支援する / される」関係ではなく、「対等な関係」を大切にし、〈当たり前の日常〉を求めてきた。
また、「私たちは『買われた』展」では、少女たちが性売買被害に遭っている実態を写真や文章などで訴え、話題となる。

ご注文書

＊書店様記入欄［取次番線・コード印］

【ご担当名：　　】

仁藤 夢乃（一般社団法人Colabo 代表）編著　ISBN978-4-87714-492-0
当たり前の日常を手に入れるために
性搾取社会を生きる私たちの闘い　定価2,000円＋税　冊

お客様氏名：　　電話番号：
ご住所：〒

影書房　〒170-0003　東京都豊島区駒込1−3−15　TEL:03-6902-2645　FAX:03-6902-2646　http://www.kageshobo.com

※ご注文の際は、上にお名前・ご住所・電話番号・ご注文冊数をご記入の上、お近くの書店へお持ち下さい。